

早春の仙元山と「カタクリとニリンソウの里」を訪ねて (2024.04.02)

服部記

4月2日、のびのびになっていた仙元山ハイキングを実施することができた。延びたおかげで季節も良くなり、桜が咲き始めカタクリも見ごろを迎えた。9時過ぎ、「道の駅おがわ」の駐車場に4台の車、7名のメンバーが集めた。朝の挨拶をかわし、すぐ歩き始める。コロナはほぼ収まったが、花粉症対策の為マスクをつける。西光寺の門前を右に曲がり、小川町を貫く槻川沿いの街道を歩く。この付近の道路の法面にカタクリが咲いている。



高西寺を過ぎ仙元山への「道」を辿る。路傍の案内標柱には「登山道」ではなく「遊歩道」と表示されていた。45分ほどで10:00 見晴らしの丘公園に至る。公園の中にある展望塔に登り、周辺の眺望を楽しむ。



比企丘陵の向こうに雪をかぶった浅間山が見える。赤城山や上越国境の山々も見ることができる。しばらく眺望を楽しんだ後、仙元山(298.9m)に向う。写真中央は小川の街。

途中、樹齢 600 年の大きなモミジの木がある。由来などが書かれている案内板には、木に寄りそうセーラー服姿の生徒の写真がはめ込まれている。昭和 38 年撮影とある。この年、筆者は 15 歳。丁度この二人と同じ年ごろだ。同年の女性メンバーに同意を求めると、この子たちは高校生なので、私たちはもう少し下で中学生だったとか、別のメンバーは、私はまだ小学生だったとか、細部にこだわった話が広がる。筆者の高校は女子が殆どおらず制服もなかったので、近くの女子高のセーラー服に心をときめかしたことがあった。もう 60 年も前だが、つい昨日のこのように思う。僕のアルバムにありそうなセピア色が懐かしい。



10:40 仙元山山頂に着く。眺望は余りなく集合写真を撮って青山城址に向う。



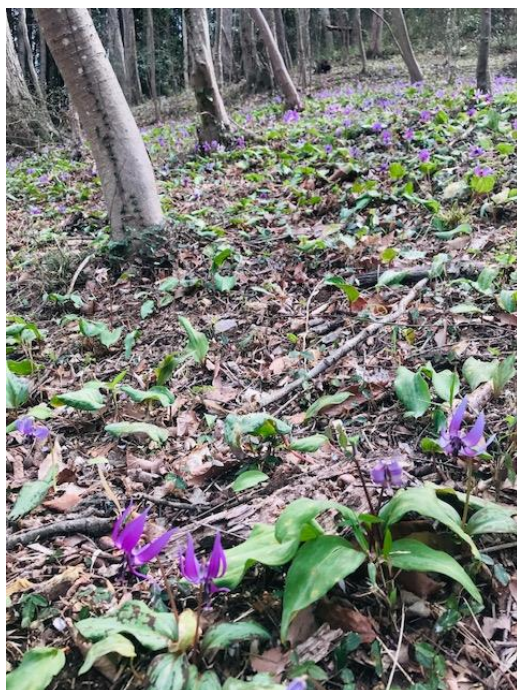
11:05 青山城址に着く。ここも眺望や石垣などの遺構はなく、ほとんど見るべきものはない。ここは、先に立ち寄った見晴らしの丘公園で昼食を摂るため、時間調整のために寄ったものだ。来た道に戻り 11:45 見晴らしの丘公園に着き楽しい昼食。温かいコーヒーをごちそうになる。日が陰り少し肌寒くなったので、温かい飲み物にホッとする。ごちそうしてくれたメンバーに感謝。



12:20 出発する。歩きやすい下山道をたどり 13:00 小さな旧小川小学校下里分校に寄る。廃校になってから、給食施設を利用したカフェができて食事が提供されている。HPを見ると、なつかしい給食を思わせる食器に豪華な内容のランチがあるらしい。

[分校カフェ MOZART（モザート） | 埼玉県比企郡小川町下里 \(shimozato.jp\)](http://shimozato.jp)

13:10 槻川沿い右岸の北斜面に広く広がるカタクリの群生地に着く。丁度見ごろで、大きな群生地だ。



地元の人たちが相当手入れをしているのだろう。斜面の根元にはニリンソウが白い花を咲かせていた。

[カタクリ《下里地区》 | 小川町観光協会 \(kankou-ogawa.com\)](http://kankou-ogawa.com)

13：40 行きにその角を曲がった西光寺に着く。ここのしだれ桜も綺麗なはずだったが、すでに盛りを過ぎていた。花手水がしつらえてある、心遣いが嬉しい。写真の3人は何を話しているのだろう、楽しそうだ。今日のハイキングも無事終わりホッとして笑みが浮かんでいるのだろうか。



14：00 駐車場に戻る。今回は「遊歩道」を辿る軽いハイキングになった。次回は4月30日(火) 羊山公園―琴平丘陵―岩井堂の予定。芝桜が武甲山に映え、琴平丘陵の新緑が目フレッシュ、わたる風も爽やかにちがいない。

<一部の写真は石谷さん提供>